

科学技術リテラシ

担当教員	辻義人, 富永敦子
対象	学部1年生
科目群	学部共通専門科目群

授業概要

大学では、論理的かつ明快な文章を書く能力が必要とされる。本授業では、まず文章の基本的な書き方（語の使い方、文の書き方、パラグラフの書き方）を学んだあとに、レポート作成の演習に取り組む。また、書籍や論文などの検索方法、引用・参考文献表の書き方についても学習する。各回の授業の流れは以下のとおりである。

1. 個別学習：オンデマンド型の動画による講義を受講する。
2. ワーク：学んだことをもとに、300～600字程度の短い文章作成の課題に取り組む。
3. ピア・レビュー：課題文章の良い点・改善点について学生同士のグループで意見交換する。
4. カンファレンス：全学生の前で、教員と学生2～3名が対話しながら、その学生の課題文章の問題点を探り、改善していく。
5. 個別フィードバック：課題文章について、教員・TA（ティーチング・アシスタント）がフィードバックする。

キーワード

文献検索、リーディング、ライティング、文章執筆プロセス、ピア・レビュー、カンファレンス

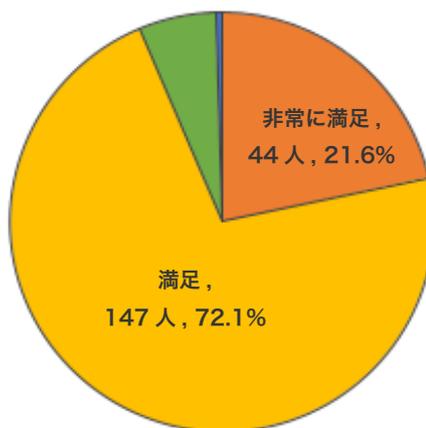
到達目標

- ・日本語として正しく、わかりやすい文章を書ける。
- ・情報ライブラリのサイトを使って、新聞記事や雑誌記事、書籍、論文を検索できる。
- ・科学技術に関する文献（数ページ程度）を読み、必要な情報を抽出し、正しく引用できる。
- ・文章作成プロセスにしたがい、序論・本論・結論からなるレポートを作成できる。
- ・学生同士で互いの文章を推敲できる。

授業フィードバックアンケート結果

授業満足度

非常に満足	44人	21.6%
満足	147人	72.1%
コメントあり	12人	5.9%
不満	1人	0.5%



コメントあり, 12人, 5.9%
不満, 1人, 0.5%

授業フィードバックアンケート結果

来年度以降も続けてほしいこと (抜粋)

- 解説動画を利用した講義方法は、自分のペースで学習を進めることができるため、来年以降もぜひ続けると良いと思います。
- 各自で映像を見て授業をする形式は、一度で理解できなかった箇所があればまた見直せるという点で良かった。ぜひ続けるといいと思う。
- レポートを書くにあたって、段階を踏んでレポートを書いていく形式の授業。
- ピア・レビューでは、ほかの人の意見も聞けるし、自分の意見の振り返りにもなってよかった。
- ピア・レビューを通して、自分で気づけなかった間違いに気づけたり、いろいろな考え方に触れるなど、よい機会だったので、これからも続けてほしいです。
- カンファレンスでは、他人の文章を見ながら、対話形式で考えを深めていけるのでよかったと思います。
- カンファレンスを行うことで、学生が何を思って書いたのか、また、それについての改善点などが分かりやすく良かった。
- フィードバックコメントをもらえると、文章を書くときに注意して書くことができるため、続けたほうが良い。

履修者から後輩へのアドバイス (抜粋)

- 最初は、そんな長い文章を書けるはずがないと思っていました。しかし、講義を受けていく中で、だんだんと書けるようになってきました。最初は難しく感じても諦めないで授業を受けてほしいです。
- はじめは長い文章を書くことが苦手であったが、この講義を聞いて以前より書けるようになった。
- 自分で書いた文章を他人に送るとき、理解しやすい文章になっているかを毎回確かめるようになった。メールを書くときやレポートを書くときに、役に立つ内容を教わることができる。
- 文献の書き方、一文一義など文章を書く際の技術が向上したと感じた。
- アカデミックな文章の書き方を、順を追って学ぶことができます。質問に対しても優しく答えてくださるので、安心して参加してほしいです。
- 毎回のフィードバックによって、自分の文章の改善点が明らかになるため、正しく適切な文章が書けるようになる。
- 仲間とともに適切な文章の書き方を学ぶことができる良い講義です。

担当教員インタビュー

Q この授業を設計・実施する際のポイントを教えてください。

A 「文章を書くのが苦手」という学生が多いので、課題はスモールステップで進めるようにしています。たとえば、最初の頃の課題は 300 字程度で語や文の書き方に気をつけながら書きます。徐々に文字数を増やしていき、複数のパラグラフからなる文書を練習します。最後は、学生自身が科学技術に関するテーマを決め、自分で文献を探して読み、序論・本論・結論からなるレポートを作成します。また、毎回の課題には教員または TA が個別にフィードバックし、良い点・改善点を伝えています。このようにスモールステップで進め、一人ひとりにフィードバックすることにより、文章が苦手な学生でも最後まであきらめずに課題に取り組めるように気をつけています。

Q この授業を担当していておもしろいところ、楽しいところを教えてください。

A 学生の文章が変化していくところです。第 1 回の課題では文がやたら長くて何を言いたいのかよくわからないことも多いのですが、最後のレポートではだいぶ大学生らしい文章になっていきます。もちろんまだ 1 年生なので、不十分なところもあります。文献を読み、考え、書くことを続けてほしいと思います。